

人形劇と浪曲と絵本の三つ巴。新しくて、おもしろい！ 「きつね森の山男」～人形劇と浪曲によるあらたな創作～ 5/3(金・祝) 宝塚でトライアウト公演(試演会)実施！

(公財)宝塚市文化財団(兵庫県宝塚市)は、この度、川崎市アートセンター(神奈川県川崎市)、三戸町まちづくり推進課(青森県三戸町)、人形劇団クラルテ(大阪府大阪市)との協働により、馬場のぼるの絵本『きつね森の山男』(こぐま社刊)を題材に、人形劇と浪曲のコラボレーションによる、幼児から大人まで楽しめる舞台作品を制作し、国内3地域で上演します。これに先立ち、宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)でトライアウト公演(試演会)を実施します。

古典から現代劇に留まらず舞踏やミュージカルと幅広く活躍する劇作・演出家ふじたあさやを脚色・演出に迎え、出演は、関西浪曲会のホープ、若手実力派の浪曲師、真山隼人と曲師(三味線)の沢村さくら。そして創立76周年を迎えた人形劇団クラルテが人形美術・出演を担当します。

- 公演名 「きつね森の山男」～人形劇と浪曲によるあらたな創作～トライアウト公演
- 開催日時 令和6年5月3日(金・祝) 14時開演(13時30分開場)
- 会場 宝塚文化創造館 講堂ホール
(宝塚市武庫川町6番12号)
- 内容 新作舞台の創作にあたって、5月1日(水)～3日(金・祝)の期間、宝塚文化創造館で公演稽古を実施。稽古最終日にトライアウト公演(試演会)を実施します。スタッフ・キャストと参加者による意見交換の場を設定し、作品づくりに参加いただきます。
上演時間 50分、意見交換 30分(予定)
対象: 幼児から大人
定員 50名+小学生モニター20名
参加費 500円 小学生モニター20名は無料(ただし一家族1名まで)
参加申込みは、宝塚市文化財団ホームページの参加フォームより受付。

https://www.t-clip.info/event/event_detail.cfm?id=5036



- お問い合わせ (公財)宝塚市文化財団 担当:三戸(俊)
Tel:0797-85-8844 Fax:0797-85-8873 E-mail:t.mito@takarazuka-c.jp

人形劇と浪曲と絵本の三つ巴。新しく、おもしろい！
「きつね森の山男」～人形劇と浪曲によるあらたな創作～
山男のふろふき大根がみんなを救う!?

【スタッフ・キャスト】

原作:「きつね森の山男」馬場のぼる(こぐま社刊)
脚色・演出:ふじたあさや
出演:真山隼人(浪曲)、沢村さくら(曲師)、人形劇団クラルテ
人形美術:松原康弘(人形劇団クラルテ)
舞台美術・映像プラン:サカイヒロト
美術製作:人形劇団クラルテ美術部
宣伝美術:升田学
テーマ音楽:藤原豊(東京音楽大学:同大学院教授)
企画:古賀恵子(人形劇団クラルテ)、三戸俊徳(公益財団法人
宝塚市文化財団)
制作:公益財団法人宝塚市文化財団
共同制作:川崎市アートセンター、三戸町



【ストーリー】

ねぐらを探す山男がやって来たのは、きつね森。
ひよんなことから、毛皮をねらう寒がりの殿様 VS きつね達の戦に巻き込まれ…。
気が優しくて大根作りが得意な山男が、大好物のふろふき大根で成す結末やいかに！
人形と浪曲でお届けする♪もの～が～た～り～り～♪

【上演スケジュール】

トライアウト公演(試演会)(兵庫県宝塚市)
2024年5月3日(金・祝)14:00
宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)／主催:(公財)宝塚市文化財団

川崎公演(神奈川県川崎市)
2024年5月12日(日)①11:00 ②14:00
川崎市アートセンター /主催:(公財)川崎市文化財団

三戸公演(青森県三戸町)
2024年5月19日(日)①10:30 ②13:30
ジョイワーク三戸 /主催:三戸町まちづくり推進課

宝塚公演(兵庫県宝塚市)
2024年11月23日(土・祝)①13:30 ②15:30
宝塚ソリオホール /主催:(公財)宝塚市文化財団

【スタッフ・キャストプロフィール】

馬場のぼる

漫画家・絵本作家。1927年青森県三戸町生まれ。1949年上京し、漫画家としてスタート。漫画『ブウタン』で第1回小学館漫画賞を受賞。1964年絵本デビュー作の『きつね森の山男』で第11回産経児童出版文化賞、『11ぴきのねこ』で第15回産経児童出版文化賞を受賞。ほのぼのとあたたかい画風と深みのあるユーモア、独特の語り口の作品で、幼児から大人まで幅広い人気を集めている。



ふじたあさや

劇作・演出家。1934年東京生まれ。早稲田大学演劇科在学中に、福田善之と合作の『富士山麓』で劇作家デビュー。主な作品に、『さんしょう太夫』（前進座・斉田戯曲賞受賞）、『しのだづま考』（中西和久一人芝居・文化庁芸術祭受賞）、『女殺油地獄』（人形劇団クラルテ・第74回文化庁芸術祭演劇部門大賞受賞）等がある。現代劇に留まらず、古典から舞踊や児童劇、ミュージカルと幅広く活動している。



真山隼人

1995年生まれ。三重県鈴鹿市出身。2010年15歳で真山広若（現二代真山一郎）に入門、2015年真山誠太郎門下に移籍。古典からオリジナル浪曲、「阿呆浪士」「有頂天家族 二代目の帰朝」などへの出演多数。様々な挑戦を続ける注目の若手浪曲師。第73回文化庁芸術祭新人賞・第39回咲くやこの花賞・2022年国立演芸場花形演芸大賞銀賞・2023年同金賞。



沢村さくら

1974年生まれ。山形県出身。2000年曲師沢村豊子に弟子入り。2005年に大阪へ住まいを移し、以後大阪を中心に活動する。関東と上方の三味線を弾き熟し、後継者育成のための三味線ワークショップや、「曲師の会」を企画・主催している。知性と行動力を備えた実力者。第18回上方の裏方大賞・令和二年度大阪文化祭奨励賞受賞。

人形劇団クラルテ

1948年大阪で創立。『女殺油地獄』において第74回文化庁芸術祭演劇部門大賞受賞。幼稚園や保育所でのおひさま劇場・小学校での演劇教室作品、近松門左衛門・シェイクスピア・ブレヒトなどの古典、森見登美彦作品など大人に向けた人形劇まで幅広く上演。創立60周年記念作品・手塚治虫『火の鳥』で全国公演。馬場のぼる作品「11ぴきのねこ」シリーズ6作を舞台化。

